



JA 葬祭 通信

地域とともに、ゆたかな暮らしのお手伝い

2013.8月発行 第5号

発行 / 福島県JA葬祭事業連絡協議会
 編集 / JAライフクリエイト福島 生活事業部 催事課
 〒963-0725 郡山市田村町金屋字下夕川原76番1
 TEL024(942)5078
 ホームページ <http://www.jalcf.jp/index.shtml>
 お客様相談窓口
 (ご意見・ご質問) ☎024(942)5078

JA葬祭で「JAオリジナル布張棺」を製作

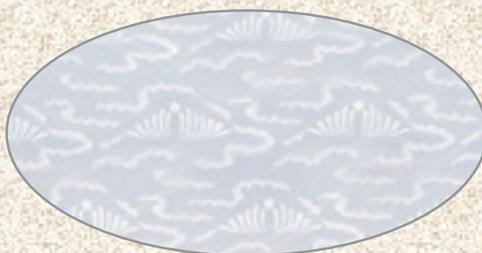
完成したJAオリジナル布張棺



福島県JA葬祭事業連絡協議会
中和田会長 (JAそうま)

(株)JAライフクリエイト福島
菅原社長

この度、福島県JA葬祭事業連絡協議会と(株)JAライフクリエイト福島は、福島県内のJA葬祭における統一活動の一環として、「JA葬祭マーク」を布地に織り込んだJAオリジナル布張棺を製作しました。平成24年3月から製作に取り組み、布地の試作を繰り返すなど試行錯誤の末に完成、4月より取扱を開始しました。



JA葬祭マークを
織り込んだ生地
のアップ

県下統一事前相談会を開催しました。

平成25年6月30日(日) 場所:県内の各JA葬祭会館にて



次回の統一開催は 平成25年12月1日(日)です。

当日は

ご葬儀のお見積り

JA安心準備ノートの作成

などを行っておりますので、
お気軽にご来場ください。

ご葬儀に関するご相談

来場者の皆様に粗品を進呈

斎場でのイベント



4月15日 JA伊達みらい鎮魂祭
(みらい斎場ほばら)



4月6日 JAあぶくま石川女性大学
(あぶくま斎場石川)



5月14日 (株)JAサービスすかがわ岩瀬
人形供養祭(JAホールあいりす)



5月26日 (株)JA郡山市協同サービス
新盆展示会(郡山東斎場)



6月1日 JAあぶくま石川新盆提灯
展示会(あぶくま斎場石川)



6月18日 JA会津みなみ人形供養祭
(西部やすらぎ斎苑)

平成25年度 JA葬祭事業の取組み

JA葬祭では、葬祭スタッフ及び関係業者に対し、資質向上を目指し各種研修会を実施しております。

5月9日

JA葬祭業務基礎講習会

JA葬祭業務を担当して経験の浅いJA職員・社員を対象にし、「葬祭業務担当者の心得」と「協同組合とJA」について研修を行いました。



JA福島中央会教育部高橋次長
による講習

横山俊邦住職(福島市 曹洞宗香澤山安洞院)
による講演



5月14日

JA葬祭料理取扱業者研修会

(株)JAライフクリエイト福島の契約の料理業者約20社を招集し、「食の安心と安全」を目的に研修を行いました。



(株)JA東京中央セレモニーセンター
丹野浩成社長による講演
都市部での飲食の役割とおもてなしの心
を持ったサービス



郡山保健所
安藤有未技師による研修
食中毒と二次感染予防

ご存じですか？



● 生命保険サービス給付解禁へ ●

● 保険金受給と選択

民間の生命保険や介護保険の契約者が、保険金を受ける代わりに「葬儀」や「介護」などサービスを受けられる現物給付型の保険商品が解禁される見通しになりました。

現物給付とは、例えば生命保険加入時に葬儀業者や葬儀の内容を選定して契約し、亡くなった際にはその通りの葬儀が行われるものです。介護保険では、介護が必要になった時に保険会社が運営、提携している介護施設に入居できるなど、契約者本人が希望通りのサービスを受け取ることができ、家族にも負担をかけないというメリットがあります。

金融庁はこれまで、生命保険会社が保険金の代わりに物やサービスを提供する「現物給付」は認めていませんでした。今回の規制緩和は、高齢化に伴い、健康なうちに将来受けるサービス内容を決めておきたいなど、サービス給付を希望する契約者が増えてきたためとしています。

サービスの提供は生命保険会社本体には認めませんが、子会社や資本関係のない提携先には今の法律のままで認める方向です。早ければ2014年以降に販売される見通しです。

(平成25年7月5日現在)

民間保険は金銭給付、公的保険は現物支給が主流

現在の保険



	民間	公的
生命保険	金銭	—
医療保険	金銭	現物
介護保険	金銭	現物
損害保険	金銭 + 現物	—

● 国民健康保険などの公的医療保険も一種の現物支給をしている。

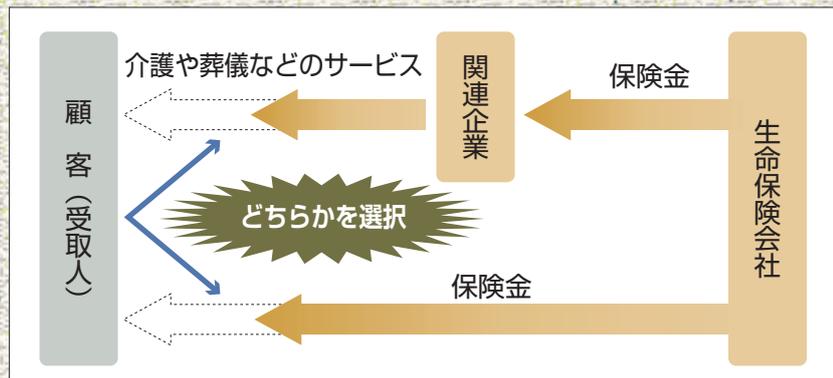
被保険者は医療機関の窓口で自己負担を支払えば、診察や薬の受取りといった医療サービス(現物)を受け取ることが保証されている。

● 公的介護保険も同様の仕組みを採用している。

参照:日本経済新聞 1月15日より

公的保険でカバーしきれない介護サービスや介護付き老人ホームへの入居を約束する保険、契約者の死亡時に葬儀を催す保険など。

新しい保険の仕組み



● 会葬のマナーについて ●

葬儀に参列されるにあたり、会葬者が心掛けるべき、一般的なマナーをご紹介します。

● 葬儀の服装

通常は、黒の礼服を着用しますが、間に合わなければ、黒めの平服でも構いません。

但し、ワイシャツは白、ネクタイ・靴は、黒色が一般的です。また、女性の場合は、黒のスーツかワンピースで、アクセサリ類の着用は避けましょう。(結婚指輪やパールのネックレス程度は可)

● 葬儀に参列できない場合は?

何かの事情でご葬儀に参列できない場合には、代理の方に名刺と香典を持たせて参列してもらるか、後日、お詫びの手紙を添えて香典を郵送します。

その場合、不祝儀袋に包んだ上で、現金書留にてお届けします。

● 会葬時の作法

● 仏式葬儀:お焼香の作法

1. 祭壇の少し手前で、僧侶と遺族に一礼します。
2. 祭壇の前で、両手に数珠をかけ一礼し、合掌します。
3. 香を親指、人さし指、中指でつまみ、額のところまでおし戴き、香炉に静かにくべます。
4. 焼香が終わったら、再び合掌して一礼します。
5. 前向きのまま祭壇前から下がって、僧侶、遺族に一礼して自席に戻ります。

※宗派により、焼香の作法は異なります。

なお、浄土真宗では、焼香に際して香を額におし戴きません。

● 宗派による作法の違い

宗派	焼香	線香	本尊
天台宗	1回~3回	1本~3本	釈迦如来/阿弥陀如来
真言宗	3回	3本	大日如来
浄土宗	1回~3回	1本~3本	阿弥陀如来
浄土真宗大谷派	2回	折って寝かせる	阿弥陀如来
浄土真宗本願寺派	1回	折って寝かせる	阿弥陀如来
臨済宗	1回	1本	南無釈迦牟尼仏
曹洞宗	2回	1本	南無釈迦牟尼仏
日蓮宗	1回~3回	1本~3本	本門の本尊大曼荼羅
日蓮正宗	1回~3回	1本~3本寝かせる	本門戒壇の大曼荼羅

※ご自分の宗派による会葬の仕方で構いません。

● 神式葬儀(神葬祭):玉串奉奠の仕方

神事で行う「玉串奉奠」は、仏式の焼香にあたるものといってよいでしょう。

玉串とは榊の小枝に紙垂(しで)をつけたものです。

玉串奉奠とは、玉串に自分の心をのせ、神にささげるという意味がこめられています。

1. 神職および遺族に一礼してから、玉串を両手で受け取ります。
2. 玉串は、右が枝元、左に葉がくるように渡されますから、右手の親指を下にし、左手で支えるように受け、枝元が胸の高さになるようにやや持ち上げて一礼します。
3. 左手で葉の部分を支えながら、右の手のひらを返し、玉串を時計回りに回転させ、枝元を祭壇に向けて玉串案に供えます。
4. 遺影を仰いで深く二礼し、2回しのび手(音を立てない)でかしわ手を打って、一礼し、2、3歩後ずさりします。
5. 向きを変えて神職と遺族に一礼し、自席にもどります。

● キリスト教葬儀:献花の仕方

キリスト教式による通夜や葬儀では、焼香に代わるものとして、献花が行われます。

献花によく用いられる花はキクやカーネーションです。

1. 花が右、茎元が左にくるように渡されますから、両手で花を持ちます。
2. 献花台の前に進み、花が手前になるように持ち直し、献花台に供えます。
3. そのまま1、2歩さがり深く一礼し、司式者(神父か牧師)、家族に一礼してもどります。
4. キリスト教の信者の人は、胸元で十字を切ったり、両手を組み合わせてお祈りをささげますが、一般の人にはその必要はありません。



おすすめ
図書

被災地で復元納棺に貢献し、
今も人々の心に寄り添う

笹原 留似子 著

「おもかげ復元師の
震災絵日記」



作者プロフィール

笹原留似子(ささはら・るいこ)

1972年、北海道札幌市生まれ。岩手県北上市在住。復元納棺師として株式会社「桜」の代表を務める。東日本大震災後、津波被害の激しかった沿岸地域で、300人以上のご遺体をボランティアで復元した。現在も納棺の仕事のかたわら、長期的視野に立った被災者支援の活動を続けている。2012年1月、社会に喜びや感動を与えた市民に贈られる「シチズン・オブ・ザ・イヤー」を受賞。

詳しくは

(株)JAライフクリエイティブ福島
HPをご覧ください。

<http://www.jalcf.jp/index.shtml>

JAライフクリエイティブ福島

検索

